

K.G. WEEKLY NEWS

■発行日 2014.12.15 No.795 ■発行 関西学院広報室 ■西宮市上ヶ原一番町1-155 TEL 0798-54-6017

～最終講義のお知らせ～

今年度をもって退職する関西学院大学の教員が、次の日程で最終講義を行う。

他の最終講義は次回に紹介する。

加藤晃規・総合政策学部教授

- 日時: 12月22日(月)15時10分～16時40分
- 場所: 神戸三田キャンパス 2号館201号教室
- 演題: 「都市政策・都市計画・環境デザインをめぐって」

川久保美智子・社会学部教授

- 日時: 12月23日(火)9時～10時30分
- 場所: 西宮上ヶ原キャンパス 社会学部201号教室
- 演題: 「経営哲学の三カ国比較ー日本・アメリカ・中国」

藤原武弘・社会学部教授

- 日時: 12月23日(火)11時10分～12時40分
- 場所: 西宮上ヶ原キャンパス 社会学部101号教室
- 演題: 「自分の社会心理学物語ーそのオモテとウラー」

井上琢智・経済学部教授

- 日時: 2015年1月8日(木)11時10分～12時40分
- 場所: 西宮上ヶ原キャンパス B号館302号教室
- 演題: 「J.S.ミルとW.S.ジェヴォンズー社会科学方法論を中心にして」

塚本和彦・法学部教授

- 日時: 2015年1月8日(木)15時10分～16時40分
- 場所: 西宮上ヶ原キャンパス 法学部チャペル
- 演題: 「関西学院大学での研究・教育生活を振り返って」

山中茂樹・災害復興制度研究所教授

- 日時: 2015年1月9日(金)11時10分～12時40分
- 場所: 西宮上ヶ原キャンパス B号館102教室
- 演題: 「災害復興のルネサンスに向けて～震災バネに期待される役割」

実生活を“笑い”に変え 新ジャンルを開拓したい



寺田 湧将さん(2013年社会学部卒)は、吉本興業初の「車いす芸人」となり、9月28日にデビューした。若手芸人が出演する東京のよしもと∞(むげんだい)ホールを中心に活動している。

漫談で勝負するピン芸人だ。「母親が車いすを動かしたらゴキブリをひいた」など実生活を笑いに変える。「不便をネタに変えて活力にします」と性格も前向きだ。



先天性の脳性まひで、足に障がいがある。しかし、努力は人一倍。小学生で健常者と野球を始め、高校生では障がい者野球の全国大会に投手で出場。一投ごとに倒れながらも全力を振り絞った。

大学では1年間の英国留学も果たした。留学中、テレビ番組で車いす芸人が笑いをとる姿を見て、障がい者の壁がないことを知り、目からウロコが落ちた。「日本では、障がい者を笑ってはダメと、壁を作ることが多い。お笑いには人と人の見えない壁を取っ払う力がある」と芸人を志した。

13年、新人タレント養成所である吉本総合芸能学院に入学した。お笑い好きだったが、もちろん経験はゼロ。自身の存在を笑いに変える難しさを痛感したが、卒業ライブでは車いすネタで笑いを獲得し、自信をつけた。

「トーク力を磨いて活躍の幅を広げ、将来は“車いすお笑いタレント”というジャンルを開きたい」。始まったばかりの芸人道にしっかりと轍を刻んでいく。

冬季休暇のお知らせ

- 関西学院は12月24日(水)午後～2015年1月5日(月)まで冬期休暇となります。期間中は窓口業務を休止し、業務再開は2015年1月6日(火)からです。
- 次号は2015年1月13日(火)発行予定です。

本年中は皆さまに大変お世話になりました。来年もどうぞよろしくお願いいたします。